

果樹病虫害発生予察調査結果（6／25調査分）  
（三条、加茂、田上地域）

6月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 6月10日に梅雨入りし、今後は高温多湿や降雨の日が多くなると予想されます。降雨前防除・新梢管理・SSの走行路を変更する等、散布ムラを解消し、病害・虫害を防ぎましょう。
- ナシヒメシンクイ第2世代幼虫の防除時期は、**なし園地では6月25～27日頃、もも園地では6月27～29日頃**です。6月の誘殺数は増加傾向となっています。ももの新梢で芯折れ被害が確認された場合は、丁寧に散布をしましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 前回と比較し、**セイヨウナシ褐色斑点病**の発生が拡大しています。今後の天候でさらに拡大することが予想されますので、発生が少ないうちに、り病枝・り病葉を摘み取り園外で処分しましょう。
- **花腐細菌病**の発生が確認されている地点があります。新梢整理の過程でり病枝のせん除をお願いしていますが、引き続き、発見した場合はせん除し園外で処分しましょう。
- 今回調査で、**黒星病**の発生は確認されませんでした。梅雨入りにより今後は感染危険度が高くなることが予想されます。り病葉・り病果の除去とともに、園内の過湿を防ぎ通風をよくすることも大切ですので、新梢管理や排水改善にも努めましょう。
- **アブラムシ類**の寄生が確認されている地点があります。寄生部位は摘み取り園外で処分するとともに、薬剤防除を行う場合は抵抗性を抑制するため、同系統の薬剤を連用しないよう注意してください。

- ニセナシサビダニによる被害葉が確認されている地点があります。ハダニ類とともに今後の多発生に注意し、発生初期の防除に努めましょう。

### (モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 多くの調査園地においてせん孔細菌病のり病葉が確認され、拡大傾向です。り病部位はせん除し、園外で処分するとともに、防風施設の点検等も実施しましょう。
- 灰星病によるり病果が確認された園地があります。JAの「令和7年度 桃 収穫・管理日程表」を参考に収穫前防除を実施し、収穫間際の被害を防ぎましょう。

### (ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、被害つる数を調査しました。

- 今回の調査で被害は確認されませんでした。引き続き定期的な防除や被害部位の除去に努めましょう。

次回調査は7月10日(木)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020